

西尾市屋内温水プール整備基本計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

1 意見の提出状況

(1) 意見募集期間

令和8年1月8日（木）から2月6日（金）まで

(2) 意見の提出方法

直接持参、郵送、FAX、電子メールにて提出

(3) 意見提出者

ア 意見を寄せられた方

5名

イ 意見件数

27件

2 意見の概要と市の考え方

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|---|---|
| 1 | <p>学校利用を主としている施設に、25m×7レーンは必要なのでしょうか。</p> <p>25m×7レーンは競技練習・タイムの向上を主とする利用に寄りやすい設計であり、教育水準（溺れないための基礎習得）との間に論点のズレが生じていると見受けられます。</p> <p>なお、学校利用を主としている場合、以下の設計が合理的であると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25m×3～4レーン ・浅水（水深0.8～1.0m程度） | <p>新たな屋内温水プールの導入機能は、基本コンセプトに挙げている「学校教育を念頭に学習機能を確保」することと、「誰もが幅広く利用できる健康増進機能を確保」することを前提として決定しており、学校利用を主としているわけではありません。</p> <p>学校利用については、市内の各小学校の学級数を基に、各学校を既存プール施設と新たな温水プールで割り当てた結果、新たな温水プールは最低限6レーンあれば授業の実施は可能であると考えています。</p> <p>一般利用については、指定管理者による水泳教室利用も想定する</p> |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・水慣れ、浮く、歩く、安全行動重視 | <p>中で、7レーンが必要と判断しています。</p> |
| 2 | <p>小学校水泳授業 212 回不足を補う策が競技仕様の温水プールの新設であるとは、制度上も論理上も言い切れません。</p> | <p>市内の各小学校の学級数を基に、各学校を既存プール施設と新たな温水プールで割り当てた結果、新たな温水プールは最低限6レーンあれば授業の実施は可能であると考えています。</p> <p>なお、「西尾市小学校プール全体計画」では、既存プール施設で水泳授業を実施するためには、316回の不足を見込んでいます。</p> |
| 3 | <p>学校利用では使用料収入を見込まず、一般市民利用や民間収益により不足分を補填し、赤字分は市税で賄うこととなるため、財政的な持続性に強い懸念があります。</p> | <p>学校プールを継続利用した場合には、学校プールごとに管理費・水道料金等の負担が必要となりますが、温水プールを利用することによりその経費が不要となります。</p> <p>また、財政負担を軽減した持続可能な施設を目指し、事業を進めてまいります。</p> |
| 4 | <p>競技仕様の施設という方向性を含む場合、費用対効果、長期赤字リスク、市民負担への説明を教育目的とは別に検証する必要があります。</p> | <p>ご意見として承ります。</p> |
| 5 | <p>市に本当に必要な施設は以下であるのかを、横並びで検討する余地があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技仕様の温水プールの新設 ・溺れないための教育を既存施設と運用の見直しでの確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・「小学校プール全体計画」では、小学校における水泳授業は、水に親しみながら体力の向上を図るとともに、「水辺に囲まれている」という本市の地理的環境を鑑み、生命の安全確保にもつながる運動として大変意義のあるものとしています。 ・「西尾市小学校プール全体計画」では、既存プール施設で水泳授業を実施するためには、316回の不足を見込んでいます。 <p>以上、2つの課題を解決するためには、本基本計画（案）でお示しした新たな屋内温水プールが必要であると考えています。</p> |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|--|---|
| 6 | <p>以下について、ご教示いただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校水泳授業 212 回不足の算定根拠（前提条件、学校数、季節運用等） ・温水プール新設以外（民間活用・集約運用・交通費補助等）を比較検討した資料の有無 ・年間の維持管理費（光熱・燃料・人件費・薬品・点検）の内訳と算定根拠 ・30 年程度の更新・解体費を含むライフサイクルコストの見通し ・学校利用時間帯を含む運用計画（一般利用制限と収益確保の前提） | <p>市の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算定根拠の前提条件である市内の各小学校の学級数、既存施設の実施可能回数、授業実施必要回数等については「西尾市小学校プール全体計画」13 ページ及び 14 ページにおいて示しており、316 回の不足を見込んでいます。季節運用等については、年間を通じて水泳授業を実施するものとしています。 ・小学校プール全体計画において、学校プールを更新した場合の LCC、既存温水プールを最大限活用しつつ、一部の学校のプールを更新した場合の LCC について比較検討しています。 ・現時点では施設の詳細な仕様が定まっておらず、詳細な費目別の試算が困難なため、同種・同規模の事例を参考に概算金額を試算しています。 ・30 年程度の更新・解体費を含むライフサイクルコストの見通しは現時点では試算しておりません。ご意見を踏まえ、今後ライフサイクルコストの低減に資する施設計画を進めます。 ・学校利用時間帯における一般利用には制限をかける想定です。 |
| 7 | <p>市の学校施設長寿命化計画によると、市内ほぼすべての小中学校が築 40～50 年経過していること、既存プールが赤字にもかかわらず、屋内温水プール整備基本計画によると、「市民アンケートでニーズがうかがえた」、「他市よりプールが少ない」等も根拠となっていること、温水プールの燃料が未定であること等を踏まえると、16 億円をかけて整備する施設が温水プールで良いのかという疑問が残るため、再検討していただきたいです。</p> <p>なお、個人的には、今後の人口減少を踏まえ、「小中学校の統廃合</p> | <p>新たに温水プールを整備する方針については、各学校プールの建替え、民間プールの利用等の選択肢と比較し、総合的に判断しております。</p> <p>小中学校の統廃合については、本基本計画外の内容ですのでご意見として承ります。</p> |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|--|--|
| | 及び建て直しとスクールバスの導入」が良いと考えています。 | |
| 8 | <p>以下について、ご教示いただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プールのみを新設する判断に至った経緯 ・既存プールの稼働実績及び新規プールの稼働見通し <p>【既存プールの稼働実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存プールの年間利用者数 ・運営経費及び収支状況 ・過去 30 年間の稼働実績 <p>【新規プールの稼働見通し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後 30 年間を見据えた利用予測 ・燃料・人件費・維持管理費を含めた収支想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・プールのみを新設する判断に至った経緯 <p>令和 3 年策定の「西尾市学校施設長寿命化計画」は、対象施設を校舎や体育館など 1 棟あたりの床面積が 200 m²以上の建築物としており、学校プールについては対象施設としていませんでしたので、学校施設長寿命化計画とは別に、令和 5 年に「西尾市小学校プール全体計画」を策定いたしました。</p> <p>この小学校プール全体計画では、「すべての小学校プールを新しくする場合」や「温水プールを新たに建設しすべての水泳指導支援を委託して通年で水泳授業を行う場合（「すべての水泳授業の温水プール移行」の場合）」などのコスト比較や、先行して温水プールで水泳授業を行っている学校の声など、様々な観点から小学校プールのあり方を検証し、「すべての水泳授業の温水プール移行」の場合には、コスト面において一定の効果が期待できるばかりでなく、それ以上にすべての児童の学習環境の平等性を保ちつつ天候や気温に左右されることなく専門インストラクターの指導が受けられるなどの多くのメリットをすべての児童が享受することができる点を高く評価いたしました。その他、教員による学校プールの維持管理（水泳授業の期間中、常に行う水質管理など）が不要となり教員の多忙化解消にもつながることなどから、小学校プール全体計画では「すべての小学校水泳授業については速やかに『温水プールへの移行』を目指す」との「小学校プール管理運営基本方針」を示しました。</p> |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|-------|--|
| | | <p>・既存プールの稼働実績及び新規プールの稼働見通し</p> <p>(1)既存プール（ホワイトウェイブ21）</p> <p>年間利用者数、運営経費及び収支状況について、特に指定がありませんので直近の3年間について回答します。</p> <p>ア年間利用者数（プールのみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 161,356人 ・令和5年度 187,969人 ・令和6年度 205,466人 <p>イ運営経費及び収支状況（税込み金額）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 収入 279,407,816円（うち指定管理料186,407,047円） 支出 278,706,047円 ・令和5年度 収入 275,477,950円（うち指定管理料165,495,775円） 支出 264,696,957円 ・令和6年度 収入 294,743,469円（うち指定管理料172,094,925円） 支出 282,550,865円 <p>ウ過去約30年間の稼働実績</p> <p>平成13年（2001年）4月24日の開業以降、約25年間稼働しております。</p> <p>(2)新規プール</p> <p>ア今後30年間を見据えた利用見通し</p> |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|---|---|
| | | <p>ホワイトウェイブ21の利用状況を踏まえ、1年間あたりの利用状況を以下のとおり想定しております。なお、今後30年間を見据えた利用見通しは作成しておりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数 大人 17,731人 小人 18,293人 <p>イ燃料・人件費・維持管理費を含めた収支想定（年額・税込）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入 12,878,800円 ・支出 維持管理費 15,948,900円 <li style="padding-left: 20px;">運営費 66,216,700円 <p>年間収入は、アの年間利用者数想定により算出したものです。また、支出については、消耗品費、通信運搬費、清掃・保守点検費、修繕費等の維持管理費と、人件費、光熱水費等の運営費について算出しております。</p> |
| 9 | <p>市民アンケートについて、選択肢が限定されており、意見を反映できない印象を受けたため、今後の検討材料として考慮いただきたいです。</p> | <p>今後の検討材料として参考にさせていただきます。</p> |
| 10 | <p>基本計画 5.概算事業費 表 5-2 において年間の維持管理・運営費が記載されていますが、6.3.2 定量的な評価（財政効果の検証）において、事業期間は約15年間と記載されています。</p> <p>その場合、事業費として、「少なくとも約15年間でどの程度市が財政負担することになるのか」を計画に盛り込んでください。（特に、昨今の最低賃金や光熱水費を始めとする物価上昇の状況、市の財政状況を踏まえて、長期的な視野での財政負担を考慮して計画に盛り込んでください。）</p> | <p>定量的な評価あたり、VFM を算出し事業方式ごとの比較をするため、概算事業費として単年度の収入額、支出額を以下のとおり算出し、15年間にわたり同じ金額が必要となる前提で試算しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入額 12,878,800円 ・支出額 維持管理費 15,948,900円 <li style="padding-left: 20px;">運営費 66,216,700円 |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|--|--|
| 11 | <p>基本計画 5.概算事業費 表 5-1、表 5-2 において、施設整備費と維持管理・運営費が記載されていますが、基本計画では、学校教育だけではなく、一般利用も想定したプールを整備する計画となっています。</p> <p>市の財政が厳しい中で、あえて一般利用のプールの運営を市が行うということを市民が受け止めるにあたり、以下を計画に盛り込んでください。市の財政負担は市民の負担となりますが、市民が約 15 年間という長期にわたる将来の負担を考える際の重要な要素となります。</p> <p>【以下の 2 項目を比較した際の市の財政負担の差異】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画 2.1 本市南部地域での学校授業の受入れのみを実施するための学校教育用プールを整備した場合 ・一般利用のサービスを追加した場合 | <p>新たな屋内温水プールの導入機能は、基本コンセプトに挙げている「学校教育を念頭に学習機能を確保」することと、「誰もが幅広く利用できる健康増進機能を確保」することを前提として決定しています。</p> <p>西尾市の今後の人口推計では、0 歳から 14 歳の年少人口は減少する見込みとなっておりますが、「小学校プール全体計画」では、小学校における水泳授業は、水に親しみながら体力の向上を図るとともに、「水辺に囲まれている」という本市の地理的環境を鑑み、生命の安全確保にもつながる運動として大変意義のあるものとしており、老朽化等によりプールが使用不能となった学校もある中で、義務教育の公平性の観点、すべての子どもたちに質の高い水泳指導を保証する観点からも、速やかに温水プールへの移行を目指すものとしています。</p> <p>また、65 歳以上の高齢者人口は増加する見込みであり、人口構成が変わっていく中で、持続可能なまちの形成を目指すためには、健康寿命を延伸するための健康増進施設の必要性はさらに高まると考えております。</p> <p>従いまして、ご意見にある 2 項目の比較は行いません。</p> |
| 12 | <p>本事業において整備したプールにおいて学校授業を行うにあたり、児童がプールまで移動することが想定されるが、そのための費用（バスで移動する場合は、バスを用意する費用等）は、概算事業費に計上されていますか。</p> <p>できる限りの影響範囲を想定して、「事業の実施に付随して生じ</p> | <p>本計画は、新たな温水プールの基本計画であることから、新たな温水プールに係る整備費と維持管理費を計上しており、ご指摘の学校水泳授業に関する費用は、概算事業費に計上しておりません。その他、本基本計画では施設の整備・維持管理・運営に関する費用について概算事業費を計上しておりますが、事業の実施に</p> |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|---|--|
| | る費用」も事業費として考慮し、計画に盛り込んでいただきたいです。 | 付随して生じる費用も含め、財政負担を軽減した持続可能な施設を目指し、事業を進めてまいります。 |
| 13 | 基本計画 5.概算事業費 表 5-1、表 5-2 について、いつ時点の金額であるのか明らかにしてほしいです。 | 想定着工時点である 2028 年 4 月時点の概算事業費です。 |
| 14 | 設計・監理費について、基本設計費、実施設計費、工事監理費の内訳を明らかにしてほしいです。 | 表 5-1 の設計・監理費は、概算事業費の算出にあたり、令和 6 年国土交通省告示第 8 号による業務報酬基準に準じて試算を行い、以下のとおり想定しています（全て税抜き金額）。 <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計費：22,000 千円 ・実施設計費：70,000 千円 ・工事管理費：31,000 千円 |
| 15 | 施設整備費について、プール工事費、外溝工事費等の内訳を明らかにしてほしいです。 | 表 5-1 の施設整備費の内訳は以下です（全て税抜き金額）。 <ul style="list-style-type: none"> ・プール工事費：1,382,215 千円 ・外構工事費：138,918 千円 |
| 16 | 基本計画に記載されている維持管理費は、数年間同一の費用であると試算しているのでしょうか。物価が上昇している状況で、維持管理費が数年間同一の費用であるとは考えられないため、直近 3 年間の物価上昇率により、今後 10 年間の維持管理費を試算すべきです。 | 概算事業費として単年度の維持管理費を算定しております。将来にわたる費用負担を算出する際には物価上昇率を加味し試算してまいります。 |
| 17 | 維持管理費及び運営費について、消耗品費、通信運搬費、清掃・保守点検費、修繕費、人件費、光熱水費等の内訳を明らかにしてほしいです。 | 現時点では施設の詳細な仕様が決まっておらず、詳細な費目別の試算が困難なため、同種・同規模の事例を参考に概算金額を試算しています。 維持管理費及び運営費の内訳は以下です（全て税抜き金額）。 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費：1,031 千円/年 |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費：373 千円/年 ・清掃・保守点検費：11,588 千円/年 ・修繕費：1,507 千円/年 ・人件費：31,011 千円/年 ・光熱水費：20,496 千円/年 |
| 18 | <p>名古屋鉄道が名古屋駅周辺の開発について白紙を公表したが、近年の物価上昇を考慮すべきである。新生涯学習センターの建設費の上昇を考慮するとこの金額には収まらないと考えるがいかがでしょうか。</p> | <p>物価上昇率を踏まえた概算工事費を算出しております。引き続き市場動向を確認しながら、コスト縮減も含め、事業費の精査に努めていきたいと考えます。</p> |
| 19 | <p>基本計画 1 基本計画策定の背景と目的において、「屋内温水プールの市民ニーズが高いことが明らかになった」との記載があるが、市民アンケートについて、プールの整備を希望している人を聞いたことがなく、不要であるとの意見が多いように感じるため、もう一度アンケートをとってほしいです。建物より市民サービスにお金を使ってほしいです。児童の水泳授業も見直すべきです。プール建設に反対です。</p> | <p>スポーツまちづくりビジョン 2040 の策定にあたり実施した市民アンケート結果により、屋内温水プールが必要であると判断しております。アンケート調査は配付数 2,500 票、回収票数 1,033 票（回収率 41.3%）でした。</p> <p>また、新たな屋内温水プールを整備することにより市民サービスが向上すると考えております。</p> |
| 20 | <ul style="list-style-type: none"> ・屋内温水プールに関する整理 ・2030 年以降の社会環境リスク ・利用心理・社会的要因 ・教育・防災との関係 ・旧一色役場跡地活用案（A 案、B 案） ・小学校水泳授業年間 212 回不足代替案 ・計画の前提の問いかけ | <p>今後の事業を進める際のご意見として承ります。</p> |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|--|--|
| 21 | <p>・「有料で特別な体験を提供する施設」より「低価格または無料で日常的に利用でき、市民生活を直接支える公共施設」の価値が高いです。</p> | <p>ご意見として承ります。施設の価値を高めるよう進めてまいります。</p> |
| 22 | <p>・旧一色町役場跡地について、単一用途施設ではなく以下のような多目的・複合的な利用が地域実情に適しているのではないのでしょうか。</p> <p>【地域特性・家計環境を踏まえた多目的施設案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地外周部にジョギング・散策コースを整備（植栽による緑化） ・敷地中央部に芝生の公園及びフリースペースを整備 ・小規模な体育館（試合対応ではなく、基礎練習・体験利用に特化） ・ドッグラン ・託児所等 | <p>公共施設整備に関するご意見として承ります。</p> |
| 23 | <p>屋内温水プールについて、水着着用に伴う心理的・身体的負担、安全管理の難しさ、維持管理におけるエネルギー依存症の高さ等から、日常利用のハードルが高く、利用者層が限定される可能性があります。</p> | <p>運用に関するご意見として承ります。</p> |
| 24 | <p>温水プールはエネルギー価格の影響を強く受ける施設であり、将来的なエネルギー調達環境の不安定化を考慮すると、長期的な財政負担リスクについても慎重な検討が必要であると考えます。</p> | <p>財政負担を軽減した持続可能な施設を目指し、事業を進めてまいります。</p> |
| 25 | <p>近隣地域には競合となる大型レジャー施設が存在し、集客面での優位性を確保することが難しいです。</p> | <p>大型レジャー施設のプールの用途と競合しないよう、日常的な利用を目的とする等、施設の位置づけ等での差別化を図りながら運営していきたいと考えています。</p> |

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|---|-------------------|
| 26 | 建設費ではなく、30年総費用と代替案の比較が提示されるまで計画を凍結すべきです。 | ご意見として承ります。 |
| 27 | <p>マクロ経済・地政学リスクへの対応が検討されていません。</p> <p>(近年、台湾有事を含む東アジア情勢の不安定化やエネルギー供給を巡る国際環境の変化により、燃料・電力の高騰や供給制限が現実的なリスクとして認識されています。)</p> <p>最低限問うべきなのは、以下の通りであり、基本計画に事業継続計画（BCP）が記載されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料供給制限や価格高騰が発生した場合の運営方針 ・有事発生時に建設や運営を中断・縮小・停止する判断基準 ・有事発生時の代替的な教育・市民サービスの確保案 | 運用に関するご意見として承ります。 |